

文化構想学部複合文化論系 2017年度 ゼミ論文・卒業研究 題目一覧

言語文化ゼミ(ことばの歴史・ことばの地理) 上野和昭先生

外国人自然発話の翻訳における役割語の使用実態

女性ファッション誌における言語表現

音位転換と若者世代の言葉の乱れ

感謝の応答について

大学生の談話における無助詞の使用実態について

オノマトペを表記する際の文字選び—擬態語を中心に—

色彩語の歴史と表現方法の研究—ファッション雑誌における色名調査—

福岡市における文末詞「ート」新用法の使用実態と今後の展開

三食の呼称について—ヨルゴハンの使用実態—

J-popの形態および歌詞の変遷について

日本文学の韓国語訳から見る、日韓敬語法の違いと日本の敬語の乱れについて

言語文化ゼミ(ことばの表記・ことばの発達) 古屋昭弘先生 * 2018年度のゼミ募集は行いません

トルコ語における文字改革と日本の明治期におけるローマ字化の比較研究

中国語における三人称代名詞の表記の変化について～“他”から“TA”へ～

日韓両国の人間関係と言語行動—敬意表現を素材にして—

現代日本語における適切表記と表記の揺れについて

言語文化ゼミ(ことばの科学・ことばの哲学) 酒井智宏先生

Hurfordの数詞下位カテゴリMの妥当性について—文脈を欠いた状態における数詞と曖昧数詞の区別困難性—

第一次子音推移の発生時期に関するEuler(2009)説の検証と争点の明確化:
ローマ人による記録, 借用語, ゲルマン人による碑文に残された語彙の音状態をもとに

現代日本語における「逆」を含む合成語の意味と制約

「最低条件」を表す「だけ」「さえ」の条件文的アプローチ—「注射だけ打てば治る」「注射さえ打てば治る」—

文化人類学ゼミ(〈伝統〉文化とその変動) 西村正雄先生

日本とアメリカにおける食文化比較

青少年の居場所における利用者と支援者のコミュニケーションに関する質的研究—足立区無料学習支援施設におけるフィールドワークより—

日本特有の文化である上下関係が部活動にもたらす影響

日本の「角打ち」という場について

大久保地域における住民の帰属意識と多文化共生社会

現世代在日韓国人のアイデンティティとプンムルノリの役目

仙台市中心部の仙台駅を中心とした都市開発の現状

日本における安楽死・尊厳死について

バリ島のチャナンの差異—都市部(クタ)と農村部(ウブド)での比較において—

京都・上七軒における伝統文化の継承—舞妓と西陣の旦那へのインタビュー調査から—

ご当地グルメでのまちづくりに対する地域住民の反応について—茨城県土浦市の事例—

日本でのサードウェーブコーヒー文化—新しいコーヒーの聖地・清澄白河—

文化人類学ゼミ(文化ツーリズム論) 寺崎秀一郎先生

日本野球と米国野球～日本人がメジャーリーグへ向けるまなざし～

在日カザフスタン留学生のLife History

柴又における観光資源としてのノスタルジア

商店街繁盛の術～谷中銀座商店街から見る～

「鎌倉らしさ」に見る現在の鎌倉

横浜を事例に考える、理想の観光地の姿

団地の人間関係と生活の現状

伝統芸能と大衆芸能の違い—大江戸玉すだれからみる大衆芸能の特徴—

箱根温泉郷からみる現代の温泉利用

大河ドラマが地域にもたらす影響

高尾山はなぜ人気の観光地になったか

小江戸佐原観光まちづくり研究

文化人類学ゼミ(宗教への人類学的アプローチ) 國弘暁子先生

腐女子への人類学的アプローチによる示唆—腐女子は何故BLを好むのか—

東日本大震災と教育の変遷

異類婚姻譚から見る人々の思想—三つのタイプから—

硬直する日本の難民問題

なぜ人は水の中にコインを投げるのか

日本におけるハラル対応の現状と課題についての考察

アカラシア治療における漢方的・消化器外科的アプローチの違いについて

婚姻制度は私たちを幸せにするか

現代日本の死と弔い

日本人ムスリマたちのネットワーク

なぜ人はプラネタリウムに惹かれるのか

異文化接触ゼミ(アートと異文化コミュニケーション) 坂上桂子先生

キース・ヘリング—開かれたアートと公共性—

石岡瑛子の広告表現—キャンペーンポスター《太陽に愛されよう》を中心に—

荒川修作の《三鷹天命反転住宅》について

アボリジニ・アートに見るアボリジニの精神世界

若冲の「かわいい」絵

19世紀から20世紀のイギリスにおける挿絵—美術性と物語との関係性—

アート都市・ヴェネチアを支えたペギー・グッゲンハイムの軌跡

芸術としてのファッション—ファッションとアートの境界—

歳時の茶道にみるアート

アルバム・ジャケット・アートの歴史における「ヒプノシス」の革新性について

アド・ラインハートと〈ブラック・ペインティング〉について

2度の東京五輪と都市計画

マリー・ローランサンの絵画にみる女性性—ココ・シャネルの肖像を中心に

エドワード・ホッパーのパラドックスについて

異文化接触ゼミ(文化変容論) 宮崎文典(宮城徳也先生)

北欧デザインにおける「北欧らしさ」とデザイン思想

アール・ヌーヴォーの現代における受容

日本と欧米のインテリア比較からみる日本のインテリアの現在と今後

バルトークの民謡研究における音楽アイデンティティとナショナリズム

『千と千尋の神隠し』のメッセージ性について

フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホが描き続けたもの

大学の財政の現状とこれから

バロック建築におけるトロンプ＝ルイユを用いた天井画の役割

日本の名前文化―名前の変遷と多様化について―

港都横浜のウォーターフロント―山下ふ頭再開発の在り方―

ディズニーアニメと社会

和菓子の変遷―若者の和菓子離れを受けた今日の和菓子―

秩序ある混沌―都市計画にみる東京の特異性―

スヌーピーから学ぶアメリカ社会と文化

「感謝」の文化差

日本における芸能「ミュージカル」について

長寿県長野―なぜ長野県は日本一の長寿県になったのか―

時代を超えて生き続ける妖怪たち

ポップ・アートの伝播

異文化接触ゼミ(アジアの思想交流) 土田健次郎先生

スリランカにおける多宗教共存の現状と今後の可能性について

異文化接触ゼミ(メディア・コミュニケーション論) 高橋利枝先生

価値基準における他者への過剰な依存性―自分を価値基準とする子どもが育つために必要なものはなにか―

第4次産業革命が生み出した技術革新の応用による高等教育における新たな試みの提言―大学のマス化による課題への摸索と教育の均質化を目指して―

日本におけるムスリム対応の現状と課題～キーワード:ハラール～

女子大生の消費行行動を形作るもの―なぜ、女子大生は食に「美しさ」を求めるのか―

ファッションビルへのAI導入からみる、AIと人との共生社会における両者の関係―顧客視点での分析より―

人工知能と恐怖～人々はなぜ人工知能に恐怖を抱くのか～

スポーツを「観る」文化の定着へ―若者が集うスポーツ都市へ―

現代社会における日本の労働のあり方とは―スペインと日本の比較から見る労働観―

定額制音楽配信サービスから見る日本の音楽市場の未来

文化交流の可能性～韓国大衆文化の普及が日本人の「韓国人」へのイメージに与えた影響から考察する～

感性文化ゼミ(現代の文化哲学) 小林信之先生

身体論

死なないための臨床哲学

メディアに見る昭和ノスタルジア

黒沢清の「こわい」映画分析

マーク・ロスコの芸術観と芸術における英雄的な試み

バーチャルリアリティからみる人間の感覚

ジョン・カサヴェテスの映画における身体

容姿コンプレックス問題と倫理的美人の存在意義について

ハイデガー『存在と時間』における「死」とく死にかかわる存在>の分析

採点競技における「芸術性」「美しさ」とは何か―様々な競技の分析を通して―

美と生のリアリティ

描き手の中動態 「見たて」における主体のあり方をめぐって

「絶対音感的な知覚」に関しての探求―絶対性の変容

難民へのインタビューにおける現象学の意義

『悲劇の誕生』におけるニーチェの初期思想について―主に「アポロンの」と「ディオニュソスの」を中心とした―

感性文化ゼミ(日本の美意識) 陣野英則先生

日本の多文化共生―日系ブラジル人と日本社会から―

源氏物語における琴の役割―表象としての楽器が持つ意味―

禁止の物語とその異界観

中原淳一と日本人の美的価値観―「美しさ」をキーワードとして―

『細雪』と恋愛—スタンダード・ハーディ・『篁物語』との比較—

異性装の美

日本人の過去への眼差し—懐古的感情の分析—

イギリスと「おとぎの国」日本

国語教育における共通語と方言

盆栽考—自然と芸術の狭間

中村明日美子『ウツボラ』論—対をなすものと境界—

動物と人間—動物との関係から見る日本人—

日本人の「愛国心」

日本における若年女性の瘦身願望と美意識—痩せ＝「美しい」のか—

感性文化ゼミ（環境と文化） 稲畑耕一郎先生

現代日本社会における「アニメ聖地」の重層的属性

東京における都市居住の快適性—人気都市吉祥寺と池袋を手掛かりに—

感性文化ゼミ（集合的アイデンティの諸相） 山田真茂留先生

ウェブ社会における親密性—人間関係の変化を中心に—

現代若者の価値観—消費活動と過保護教育の視点から

現代登山における責任

青年期と心の病—うつ病を中心に

現代日本におけるジェンダー表象の諸問題

選択と幸福—日本的価値とスカンジナビアモデル—

働き方の変化—女性の社会進出・男性の家庭進出を中心に—

日本で働く外国人労働者—共生のあり方を探る

涙とジェノサイド—映画『Shooting Dogs』を中心に

希望論の構図

感性文化ゼミ(現代文明への視座) 高橋透先生

二次元美少女の分析

北米文化比較研究～多文化共生社会と日本の未来～

日本のデザインを考える～広告の今と未来～

3つの観点から見た現代のCM分析

アイドル×色—現代におけるアイドルの定義とは—

外国人の割合が低い一方で様々な国の「海外料理」を食べることができる日本の現状

情報化社会におけるテレビCMの新しい在り方

ファッションメディアとしての紙媒体の衰退と展望—ファッション誌が息を吹き返すには?—

卒業研究

なぜ人はプラネタリウムに惹かれるのか

江戸期から続く日露交流史から北方領土問題を考える—日露交流史—

クール・ジャパン戦略の功罪と展望

日本の早期教育—小学生と教育の関わり方—

床の間とはなにか

炎上記事が閲覧者の心理に与える影響に関する研究—公共空間としてのインターネットという視点から—

しゃべくり漫才の誕生から現在までのお笑い及びバラエティ番組の考察とこれからの予測

住民に愛される魅力的なまちづくり—千葉県船橋市の調査—

スウェーデンにおける生活空間の快適性

近江商人の生き方とCSR—近江商人の地域コミュニティから現代社会における企業の課題を考える—